
資料編 ①

- ◇ 教育委員会職員
- ◇ 児童・生徒数の推移
- ◇ 園児数・学級数の推移
- ◇ 学校給食
- ◇ 令和5年度年齢別身長・体重の狭山市・埼玉県・全国平均値
- ◇ 公民館 利用件数・利用者数、主催事業
- ◇ 富士見集会所 主催事業、利用状況
- ◇ 博物館 入館者数、資料数
- ◇ 図書館 活動状況、貸出資料数、登録者数、所蔵資料数、入館者数
- ◇ 体育施設 利用状況
- ◇ 令和4年度スポーツ教室・行事实施状況、令和4年度学校体育施設開放事業

○教育委員会職員

令和5年5月1日現在

◆事務局職員

生涯学習部				
部長	次長	教育総務課	教育施設管理課	社会教育課
1名	1名	5名	8名	11名
スポーツ振興課および武道館		公民館	富士見集会所	図書館
7名		47名	2名	12名

学校教育部			
部長	次長	教育指導課	学務課
1名	1名	8名	9名
教育センター		給食センター	幼稚園
5名		9名	8名

◆会計年度任用職員（市費対応）

学校事務員	46名	学校の予算管理、備品・消耗品管理、教育委員会との連絡調整
学校給食配膳員	77名	学校給食の配膳業務
学校校務員	46名	学校における清掃、整備、巡回等の業務
語学指導助手	13名	小・中学校における英語活動、外国語（英語）教育の指導補助
さやまっ子相談員	12名	児童・生徒及び保護者との相談、教育活動の支援等
教育相談員	7名	いじめや不登校についての相談、専門的・継続的な教育相談に応じた問題解決支援等
学校課題解決支援委員	1名	学校運営における諸問題の早期解決を図るための支援等
適応指導教室指導員	3名	適応指導教室「けやき」に通う不登校児童生徒への社会的自立に向けた指導
介助員	36名	特別支援学級または通常学級に在籍する児童・生徒への介助
わくわく支援員	15名	教育指導、児童指導に関する支援等
アシスタントティーチャー	8名	チームティーチングや授業の支援等
スクールサポートスタッフ	22名	教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる業務支援等
派遣非常勤講師	6名	教職員が出張等で勤務できない場合、校長の申請により派遣
発達障害・情緒障害通級指導教室指導員	3名	発達障害及び情緒障害の児童・生徒に対する指導補助
発達障害・情緒障害通級指導教室指導員指導者	1名	発達障害・情緒障害通級指導教室指導員の指導
学校図書館司書	8名	学校図書館の計画的な活用に関する指導・援助

部活動指導員	8名	当該部活動における専門技術に関する指導
幼稚園教諭	3名	公立幼稚園における補助教諭
社会教育指導員	4名	社会教育の特定分野についての直接指導及び学習相談等
図書館司書職員	10名	図書館業務
図書館職員	27名	図書館業務補助
文化財整理・埋蔵文化財発掘補助員	9名	出土した埋蔵文化財の整理作業及び発掘現場での発掘作業等
学校給食センター事務補助員	3名	堀兼・柏原学校給食センターの事務補助
堀兼給食センター栄養指導員	1名	栄養指導、現場衛生管理等
教育総務課一般事務補助	1名	小中学校（全23校）の差引業務、教育委員会内の事務文書整理等

◆教育補助員等（市費対応）

英語活動支援員	15名	英語活動において、チームティーチングにより教員を補助
日本語指導員	13名	日本語指導を必要とする外国人子女、帰国子女の日本語指導
さやまっ子相談支援員	5名	児童・生徒及び保護者との相談、教育活動の支援等
さやまっ子スクールソーシャルワーカー	2名	いじめや不登校など児童生徒が抱える課題の解決に向けた対応指導
部活動支援員	30名	当該部活動における専門技術に関する指導

児童・生徒数の推移

令和5年5月1日現在

小学校

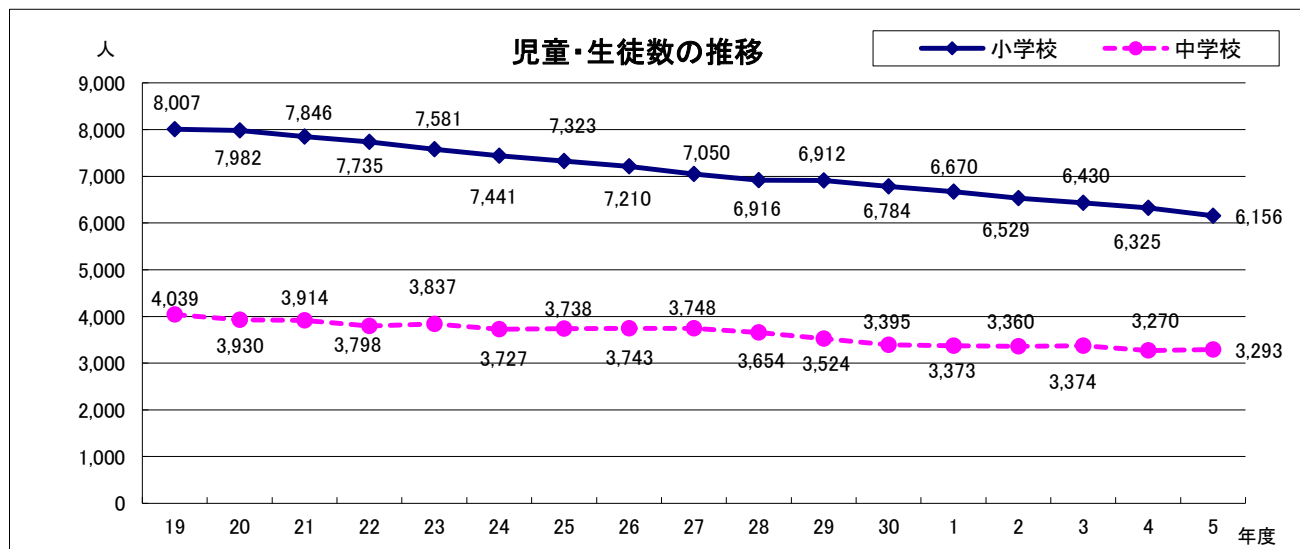
(単位:人)

年度 学校名	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
入間川小	624	604	576	558	534	518	528	537	524	530	548	527	517	497	508	522	491
入間川東小	584	568	582	567	567	540	546	579	568	579	587	607	636	629	646	660	672
富士見小	864	847	812	791	758	767	752	738	740	707	712	673	690	659	634	615	587
入間小	334	332	319	305	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
南小	480	477	501	511	651	679	646	651	652	621	613	581	562	541	519	523	500
山王小	516	513	514	493	490	470	466	447	437	425	435	439	442	432	429	431	409
入間野小	295	315	327	329	460	455	455	430	423	421	444	456	429	458	462	463	466
御狩場小	337	346	308	280	286	276	278	261	256	257	236	244	224	217	207	200	206
堀兼小	318	309	290	289	275	280	282	281	278	278	279	275	266	254	247	237	232
狭山台小	/	/	/	639	599	568	559	531	524	492	491	483	451	432	414	392	388
狭山台南小	369	376	357	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
狭山台北小	264	262	257	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
新狭山小	731	686	682	681	680	673	627	628	599	575	535	509	504	475	459	439	420
奥富小	330	346	349	346	363	352	364	340	332	334	324	319	320	334	334	314	308
柏原小	667	662	649	641	599	584	564	557	544	539	546	534	525	529	507	485	480
水富小	422	435	429	430	432	427	426	432	422	405	392	380	378	355	354	375	368
広瀬小	538	560	554	543	553	537	509	476	456	453	479	472	467	461	465	444	428
笹井小	334	344	340	332	334	315	321	322	295	300	291	285	259	256	245	225	201
合計	8,007	7,982	7,846	7,735	7,581	7,441	7,323	7,210	7,050	6,916	6,912	6,784	6,670	6,529	6,430	6,325	6,156

中学校

(単位:人)

東中	502	466	495	457	470	434	412	400	395	/	/	/	/	/	/	/	/
中央中	324	342	335	354	344	370	389	424	438	447	450	441	455	457	469	473	467
入間川中	419	382	389	373	376	329	288	243	245	246	266	248	247	232	229	229	248
入間中	284	275	252	259	277	296	314	311	/	/	/	/	/	/	/	/	/
山王中	378	363	369	367	362	325	292	317	342	368	359	340	333	321	327	316	325
入間野中	341	327	323	296	302	305	311	307	597	538	493	478	521	529	535	474	488
堀兼中	488	510	511	493	471	448	449	430	428	428	451	424	399	391	381	390	371
狭山台中	296	299	290	282	307	289	304	298	304	680	627	615	570	571	591	569	566
西中	697	641	631	600	600	620	656	703	680	650	606	598	596	609	586	569	558
柏原中	310	325	319	317	328	311	323	310	319	297	272	251	252	250	256	250	270
合計	4,039	3,930	3,914	3,798	3,837	3,727	3,738	3,743	3,748	3,654	3,524	3,395	3,373	3,360	3,374	3,270	3,293



園児数・学級数の推移

各年度5月1日現在

(単位：人・学級)

幼稚園

年度 園名	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
入間川	91	87	83	87	69	70	83	103	119	115	113	106	98	74	42	37	36
入間川東	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
入曽	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
堀兼	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
狭山台	80	65	72	65	55	61	49	21	*	*	*	*	*	*	*	*	*
新狭山	119	118	79	66	64	62	47	20	*	*	*	*	*	*	*	*	*
奥富	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
柏原	79	78	54	43	61	61	44	21	*	*	*	*	*	*	*	*	*
水富	93	86	64	76	74	82	89	81	86	68	65	80	62	42	31	27	23
園児数計	462	434	352	337	323	336	312	246	205	183	178	186	160	116	73	64	59
学級数	21	18	16	16	16	16	14	11	8	7	7	8	7	5	4	4	4

○学校給食

令和5年度の給食

	入間川学校給食センター	堀兼学校給食センター	柏原学校給食センター
対象校等	小学校 7校 (3,211人)	小学校 4校 (1,661人)	小学校 4校 (1,770人)
	中学校 3校 (1,117人)	中学校 3校 (1,517人)	中学校 2校 (881人)
給食費	小学校 4,300円(月額) (一食あたり 260円)		
	中学校 5,000円(月額) (一食あたり 300円)		
回数	185回		

令和5年度年齢別身長・体重の狭山市・埼玉県・全国平均値

区 分		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
身 長 (c m)	男	狭山市	117.0	122.6	128.3	133.6	139.8	145.6	153.7	160.7	165.9
		県	116.7	122.6	128.7	134.2	139.5	146.7	154.0	160.6	165.6
		全国	116.7	122.6	128.3	133.8	139.3	146.7	153.6	160.6	165.7
	女	狭山市	116.0	121.4	127.7	134.2	140.9	147.4	152.1	155.0	156.4
		県	116.5	121.9	127.9	134.5	140.8	147.3	152.4	154.8	156.5
		全国	115.8	121.8	127.6	134.1	140.9	147.3	152.1	155.0	156.5
体 重 (k g)	男	狭山市	22.0	24.4	27.7	31.0	35.5	39.3	45.7	50.4	55.0
		県	21.9	24.6	27.8	31.5	35.0	39.8	45.8	50.3	54.6
		全国	21.7	24.5	27.7	31.3	35.1	39.6	45.2	50.0	54.7
	女	狭山市	21.4	23.8	27.2	30.8	35.2	40.5	44.3	47.8	50.0
		県	21.5	23.8	26.9	31.0	34.8	40.0	44.3	48.2	50.3
		全国	21.2	23.9	27.0	30.6	35.0	39.8	44.4	47.6	50.0

※統計データは令和4年度に実施した定期健康診断結果に基づくものである

○公民館（11館）

公民館利用件数・利用者数

（単位：件・人）

区 分	令和3年度		令和4年度	
	件数	人数	件数	人数
中央公民館	6,725	60,485	9,328	91,867
富士見公民館	4,016	37,657	5,095	43,512
水野公民館	2,559	24,430	3,122	28,560
堀兼公民館	1,181	10,045	1,436	12,274
狭山台公民館	3,353	29,203	3,930	34,892
新狭山公民館	2,967	29,382	3,942	37,751
奥富公民館	1,197	12,388	2,013	20,606
柏原公民館	1,728	15,534	2,030	17,755
広瀬公民館	3,084	24,476	3,910	32,226
水富公民館	1,217	12,935	1,454	13,736
合 計	28,027	256,535	36,260	333,179

参考

区 分	令和3年度		令和4年度	
	件数	人数	件数	人数
入曽地域交流センター	6,064	58,513	8,850	84,063

※入曽公民館は令和2年度より入曽地域交流センターとして施設を供用している

公民館主催事業

（単位：件・回・人）

区 分	令和3年度			令和4年度		
	事業件数	延開催回数	延参加人数	事業件数	延開催回数	延参加人数
中央公民館	15	141	2,401	28	283	5,210
富士見公民館	23	138	1,857	31	242	4,099
入曽公民館	7	15	2,415	16	42	3,728
水野公民館	23	114	2,269	34	212	4,465
堀兼公民館	22	45	1,368	23	53	1,084
狭山台公民館	15	64	2,077	25	73	3,544
新狭山公民館	16	125	896	28	271	5,391
奥富公民館	18	79	2,309	28	109	9,308
柏原公民館	21	64	2,524	22	80	2,020
広瀬公民館	16	86	2,573	32	144	5,278
水富公民館	11	74	1,527	12	100	4,380
合 計	187	945	22,216	279	1,609	48,507

参考

入曽地域交流センター	12	45	1,833	19	71	5,704
------------	----	----	-------	----	----	-------

○富士見集会所

富士見集会所主催事業

年 度	講 座 数	開催日数 (延べ)	参加者数 (延べ)
令和3年度	8 件	23 日	471 人
令和4年度	12 件	38 日	1,124 人

富士見集会所利用状況

年 度	区 分	官公署	公共的団体 (うち免除登録団体等)	有料団体	合 計
令和3年度	件 数	11 件	139 (5) 件	1,517 件	1,667 件
	人 数	118 人	1,432 (41) 人	13,157 人	14,707 人
令和4年度	件 数	91 件	273 (28) 件	1,948 件	2,312 件
	人 数	1,426 人	2,616 (243) 人	17,176 人	21,218 人

※主催事業を除く。

○博物館

博物館入館者数

(単位：人)

年 度	一 般	高・大	小・中	幼 児	合 計
令和3年度	17,714	397	6,901	5,586	30,598
令和4年度	23,260	701	9,091	5,009	38,061

博物館資料数 (令和4年度)

(単位：点)

民 俗	歴 史	写 真	地 学	動 物	美 術
5,672	4,681	364	682	264	352
植 物	図 書	考 古	その他		合 計
69	395	208	392		13,079
寄 贈	寄 託	借 用	購 入	採取等	合 計
12,797	268	0	10	4	13,079

○図書館

図書館活動状況

年度	開館日数		リクエスト 予約件数	コピー サービス枚数	レファレンス サービス件数	移動図書館 巡回日数
	中央 図書館	狭山台 図書館				
令和3年度	257日	282日	87,658件	8,204枚	7,429件	151日
令和4年度	289日	318日	79,538件	7,880枚	9,502件	171日

貸出資料数

(単位:点)

年度	中央図書館 (ネット利用含)	狭山台 図書館	移動図書館	合計(内団体貸出数)	市民一人当 り貸出数
令和3年度	548,049	156,628	17,690	722,367 (14,794)	4.83
令和4年度	600,860	164,553	17,771	783,184 (18,125)	5.25

登録者数

(単位:人)

年度	新規登録者				総数 (累計)	狭山市民
	中央 図書館	狭山台 図書館	移動 図書館	合計 (内団体数)		
令和3年度	1,763	413	42	2,218 (3)件	153,551	134,872
令和4年度	1,927	427	28	2,382 (6)件	155,872	136,816

所蔵資料数

年度	図書		紙芝居	雑誌	視聴覚資料	合計
	一般用	児童用				
令和3年度	430,308冊	224,599冊	4,497点	9,512冊	12,526点	681,442点
令和4年度	431,184冊	226,389冊	4,458点	9,084冊	12,525点	683,640点

※視聴覚資料の中には視聴覚ライブラリー資料(16ミリフィルム486点)は含まない。

入館者数(令和4年度)

館名	入館者数	開館日数	一日平均入館者数
中央図書館	290,685人	289日	1,006人
狭山台図書館	129,669人	318日	408人

○体育施設

市民総合体育館利用状況

年 度	開館日数	団体件数	個人件数	利用人数
令和3年度	334日	6,376件	20,727件	150,352人
令和4年度	334日	6,930件	33,132件	205,966人

地域スポーツ施設利用状況

年 度	開館日数	団体件数	個人件数	利用人数
令和3年度	333日	4,252件	445件	38,452人
令和4年度	333日	4,403件	725件	42,266人

武道館利用状況

年 度	開館日数	団体件数	個人件数	利用人数
令和4年度	267日	469件	731件	12,249人

令和4年5月17日供用開始

《プールの利用状況》

狭山台プール

年 度	日 数	小学生以下	中・高生	一 般	合 計
令和3年度	0日	0人	0人	0人	0人
令和4年度	39日	1,691人	212人	1,065人	2,968人

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休止とした。

令和4年度 スポーツ教室・行事実施状況

(1) スポーツ教室 (15種目 16教室 延べ参加人数665人)

教室名	期間	会場	参加人数	延べ参加人数
体力テスト向上	4月 (1日間)	元気プラザ	14	14人
硬式テニス (初心者)	6月～7月 (4日間)	智光山公園	14	47
ラクロス	7月 (1日間)	堀兼・上赤坂公園	17	17
	10月～12月 (4日間)		26	92
ゴルフ (初心者)	7月～8月 (8日間)	堀兼ゴルフセンター	6	47
剣道 (初心者)	7月 (5日間)	武道館	27	81
子どもスポーツ体験	8月 (1日間)	東京家政大学	14	14
かけっこ (親子)	9月 (1日間)	元気プラザ	68	68
柔道	9月 (5日間)	武道館	18	78
体幹を鍛えて健康増進	10月～11月 (2日間)	東京家政大学	24	40
バドミントン (初心者)	11月～12月 (4日間)	市民総合体育館	16	53
ヨガ	11月 (4日間)	武道館	17	59
ランニングクリニック	1月 (1日間)	狭山稲荷山公園	20	20
アクティブチャイルドプログラム	1月 (1日間)	武道館	12	12
キッズダンス	3月 (1日間)	武道館	12	12
Withコロナで楽しめる軽スポーツ ボウリング	3月 (1日間)	新狭山グランドボウル	11	11

(2) スポーツ関連行事 (5事業 参加人数317人)

	期日	会場等	参加人数
壮年ソフトボール大会	5月8日	上奥富コンビネーショングラウンド	113人 (9チーム)
さやまCIYTゴルフ大会	6月20日	東京ゴルフ倶楽部	110人 (28組)
体力テスト会	10月8日	市民総合体育館	38人
健康ウォーキング	3月8日	市民交流センター 入間川地区周辺	26人
スポーツ障害予防講習会	3月11日	市民総合体育館	30人

令和4年度 学校体育施設開放事業

区 分	利用日数	利用登録団体数	延べ利用人数
入間川東小学校	135 日	8 団体	2,897 人
富士見 "	247	16	8,101
南 "	241	17	10,023
山王 "	40	3	974
入間野 "	253	13	6,781
御狩場 "	190	10	5,165
堀兼 "	119	8	1,997
狭山台 "	248	14	6,084
新狭山 "	198	11	7,141
奥富 "	146	11	5,558
柏原 "	172	8	3,201
広瀬 "	206	11	4,201
笹井 "	104	8	2,905
水富 "	103	3	1,639
小計 (小学校)	2,402	141	66,667
中央中学校	175	8	2,097
入間川 "	164	6	1,834
山王 "	195	5	2,860
入間野 "	259	8	6,409
堀兼 "	183	6	1,996
西 "	269	17	6,332
柏原 "	142	6	1,314
狭山台 "	158	6	2,199
小計 (中学校)	1,545	62	25,041
合 計	3,947	203	91,708

※利用登録団体数は、令和4年3月末現在の数

資料編 ②

- ◇ 狭山市の指定文化財 狭山市の登録有形文化財
- ◇ 狭山市の教育 ～これまでの歩み～

狭山市の指定文化財

令和5年5月1日現在

No	種別	名称	指定年月日	所在地	所有者・保持者等	
埼玉県指定	1	工芸品	さはりの壺	S29.10.23	入間川3-6-14	八幡神社
	2	古文書	篠井家文書	S34.3.20	笹井	篠井家
	3	無形民俗文化財	入曾の獅子舞	S54.3.27	南入曾460 金剛院 南入曾641 入間野神社	入曾の獅子舞保存会
	4	無形民俗文化財	梅宮神社の甘酒祭り	H4.3.11	上奥富508 梅宮神社	梅宮神社甘酒祭保存会
	5	史跡	七曲井	S24.2.22	北入曾1366	常泉寺
	6	旧跡	堀兼之井	S36.9.1	堀兼2220	堀兼神社
	7	天然記念物	広瀬神社の大ケヤキ	H10.3.17	広瀬2-23-1	広瀬神社
	8	天然記念物	笹井産出アケボノゾウ骨格化石	H15.3.18	稲荷山1-23-1 博物館	狭山市
狭山市指定	9	建造物	天岑寺惣門	S48.3.1	沢5-34	天岑寺
	10	建造物	広福寺山門	S48.3.1	下奥富844	広福寺
	11	建造物	八幡神社本殿	S48.3.1	入間川3-6-14	八幡神社
	12	建造物	隨身門及び二神像	S61.11.1	堀兼2220	堀兼神社
	13	絵画	白鬚神社韋駄天の額	S50.3.1	柏原1153	柏原白鬚神社
	14	絵画	仙人の図	S51.4.1	柏原	小谷野家
	15	絵画	ねずみの図	S50.3.1	柏原1059(博物館に寄託)	西浄寺
	16	絵画	桃園三傑図	S52.9.1	上奥富508	梅宮神社
	17	絵画	絹本着色釈迦涅槃図	S61.11.1	入間川2-3-11	徳林寺
	18	絵画	絹本着色釈迦八相図	S61.11.1	入間川2-3-11	徳林寺
	19	絵画	紙本着色両界曼荼羅	S61.11.1	上奥富354	瑞光寺
	20	絵画	紙本地蔵十王図付他二幅	S61.11.1	根岸2-5-1	明光寺
	21	彫刻	慈眼寺阿弥陀如来像	S51.4.1	入間川1-9-37	慈眼寺
	22	彫刻	木造聖観世音菩薩坐像	S61.11.1	北入曾1366	常泉寺
	23	彫刻	木造地藏菩薩立像	S61.11.1	南入曾460	金剛院
	24	彫刻	銅造聖観世音菩薩立像	S61.11.1	柏原1027	円光寺
	25	彫刻	木造不動明王及び二童子立像	S61.11.1	柏原2492	永代寺
	26	彫刻	木造千手観世音菩薩坐像	S61.11.1	広瀬2-20-1	禅龍寺
	27	彫刻	木造宝冠釈迦如来坐像	S61.11.1	笹井2-17-8	宗源寺
	28	彫刻	木造薬師三尊像並びに十二神将像	H29.2.1	東三ツ木8-1	天岑寺
	29	工芸品	梅宮神社鰐口	S51.4.1	上奥富508	梅宮神社
	30	工芸品	御正体(懸仏)	S61.11.1	柏原1153	柏原白鬚神社
	31	工芸品	大水作鎗	S61.11.1	柏原	増田家
	32	工芸品	神輿	S61.11.1	広瀬2-23-1	広瀬神社

No	概 要
1	「さはり」とは、銅を主として錫・鉛(または銀)を加えた黄白色の合金です。壺の高さ18.7cm、直径10cm、口径7cm。
2	篠井家は江戸時代まで笹井観音堂とよばれた本山派修験・聖護院末28院の1寺院で、その修験関係文書16通が指定を受けています。
3	毎年10月に、金剛院と入間野神社に奉納されます。1日目は金剛院で揃獅子を、2日目は金剛院で前狂い・入間野神社で全曲が奉納されます。
4	毎年2月10日に座揃式、2月11日に大祭が行われます。関東地方には珍しい頭屋制(氏子組の輪番制)で祭が運営されています。
5	武蔵野の歌枕として名高い「ほりかねの井」の1つといわれています。9世紀後半から10世紀前半にかけて掘られたと考えられます。
6	枕草子や千載和歌集で「ほりかねの井」とよばれる漏斗状井戸の1つです。直径7.2m、深さ1.9m。
7	1本が高さ約32m、幹周り約6.3m、もう1本が高さ約27m、幹周り約6.1mで、樹齢はいずれも約800年と推定され、まれにみる巨木です。
8	アケボノゾウは体高1.5～1.8m、体重2～3tと推定され、小柄で長いキバを持ち、入間川流域の笹井で骨格化石が発掘されています。
9	総檜材で、屋根は瓦葺切妻、門全体は沖縄風の様式が感じられます。表間口3.64m、奥行き3mの四脚門です。
10	白壁が美しい竜宮造りの建築様式をとるもので、入母屋造りの瓦葺屋根の下は鐘楼になっています。
11	唐破風向拝付、千鳥破風付入母屋造りという建築様式で、周囲には見事な彫刻が施されています。
12	市内唯一の隨身門で、桁行6.85m、梁行4.12m、単層入母屋造りの八脚門です。朱塗り門の両側には神像が安置されています。
13	絵馬様式で、幅179cm、左右の高さ113cm、中央の高さ131cm、宝棒を振り上げ、仏舎利を奪った魔王を追いかけている姿が描かれています。
14	鉄拐(てっかい)と蝦蟇(がま)が一幅ずつ描かれ、2つで一对をなしています。柴田是真(1807～1891)作。
15	木の額に描かれた彩色画で、たくさんのねずみが張子の小槌を作っている姿が描かれています。河鍋暁斎(1831～1889)作。
16	劉備・関羽・張飛の3人が、桃の木の下に会し、兄弟の盟を結んでいるところが描かれています。縦125cm、横180cm、堤等琳作。
17	釈迦が亡くなったときに、弟子や諸王らが嘆き悲しんでいる姿が描かれています。縦177.5cm、横104cm。御絵所宗貞作。
18	釈迦の生涯における主要な事跡を、絹本着色釈迦涅槃図と合わせて八つとなるように描いたものです。縦188.5cm、横105cm。
19	金剛界曼荼羅と胎藏界曼荼羅からなる二幅の絵画で、和紙に彩色で描かれています。いずれも、縦90.5cm、横81cm。
20	十王、地藏菩薩、脱衣婆、修羅の図を合わせて十三幅からなる仏画です。いずれも、縦93cm、横39cm。
21	ケヤキの一本造りで、均衡のとれた姿をし、豊かな顔立ちをしています。像高73cm。
22	観音堂の本尊で、左手はつぼみの蓮華を持ち、右手は掌を開いて施無畏印を結んでいます。寄木造り、像高54cm。
23	左手に宝珠、右手に錫杖を持ち、顔立ちは豊かで穏やかです。寄木造り、像高79cm。
24	通肩の法衣を着て、頭髮は宝髻(ほうけい)に結び、左手に蓮華のつぼみを持ち、右手は施無畏印を結んでいます。像高41.5cm、全体高48cm。
25	両眼を大きく開き右手に剣、左手に索を持った不動明王が、二童子を従えた一組の像です。不動明王の像高72.2cm、二童子の像高41.7cm。
26	11面42手を持ち、光背は舟形の透かし彫りで雲の中に11面の円鏡が散りばめられています。像高64.6cm。
27	口元から少し白い歯をのぞかせていることから、歯仏とか微笑釈迦牟尼仏ともいわれています。像高38cm。
28	薬師如来坐像は応永6年(1399)常仁の作で寄木造、十二神将像は一本造で、作風から、鎌倉時代後半から室町時代にかけて鎌倉を中心に流行した様式のものと考えられます。日光・月光菩薩像は一本造ですが、他の像と違い、江戸時代前期のものと考えられます。
29	下方に大きな割れ目があり、布縄で参拝者がたたき鳴らす丸型の鳴器です。現在は片側のみ残っています。青銅製、直径14cm。
30	全部で5面あり、大小の違いはあるものの、青銅の鋳物で円鏡型をなし、十一面観世音菩薩像が鋳出されています。
31	柏原の鎗鍛冶師、増田大水の作で、「武州柏原住大水作」という銘文が刻まれています。全長67.8cm、穂先の長さ23.5cm。
32	宝形造りで、屋根の頂上には鳳凰が立つ、豪華絢爛な神輿です。下框の長さ122cm、屋根上鳳凰までの高さ228cm。

狭 山 市 指 定	33	工 芸 品	堀兼神社(富士浅間社)本殿厨子 附 棟札一枚	H29.2.1	堀兼2220	堀兼神社
	34	書 跡	梅宮神社神号	S52.9.1	上奥富508	梅宮神社
	35	古 文 書	広瀬村境界絵図面及び分見野帳	S51.4.1	広瀬	山崎家
	36	無形文化財	笹井豊年足踊り	S52.9.1	笹井1962 笹井白鬚神社	笹井豊年足踊り保存会
	37	無形民俗文化財	八幡神社鹿子舞	S46.4.1	入間川3-6-14 八幡神社	入間川鹿子舞保存会
	38	無形民俗文化財	広瀬囃子	S52.9.1	広瀬2-23-1 広瀬神社	広瀬囃子保存会
	39	無形民俗文化財	入曾囃子	S52.9.1	北入曾274-1 野々宮神社	入曾囃子保存会
	40	無形民俗文化財	広瀬浅間神社の火まつり	H9.6.2	上広瀬983-2 富士浅間神 社	水富㊦講中
	41	無形民俗文化財	お諏訪さまのなすとつかえ	H9.6.2	入間川4-2-41 諏訪神社	諏訪神社社務所管理委員会
	42	無形民俗文化財	西方囃子	H15.11.4	奥富地区	西方囃子保存会
	43	無形民俗文化財	柏原祇園囃子	H15.11.4	柏原地区	柏原郷土芸能会
	44	無形民俗文化財	上赤坂獅子舞	H17.12.1	上赤坂地区	上赤坂獅子舞保存会
	45	有形民俗文化財	天岑寺月待供養の碑	S48.3.1	沢5-34	天岑寺
	46	有形民俗文化財	絵馬「子返しの図」	S61.11.1	柏原1153	柏原白鬚神社
	47	有形民俗文化財	絵馬「陰陽和合図」	H25.2.1	柏原1153	柏原白鬚神社
	48	史 跡	清水濱臣の墓	S48.3.1	狭山531	天岑寺
	49	史 跡	清水八幡	S52.9.1	入間川3-35-9	八幡神社
	50	史 跡	生越道々標	S50.3.1	下奥富496-3	狭山市
	51	史 跡	城山砦跡	S48.3.1	柏原2346-2他	小谷野家・早川家・狭山市
	52	史 跡	今宿遺跡	S51.4.1	広瀬台1-22	狭山市
	53	史 跡	影隠地蔵	S52.9.1	柏原204-1	狭山市
	54	史 跡	清水宗徳之墓	S55.6.2	上広瀬976付近	清水家
	55	史 跡	旗本小笠原家墓所	H18.12.1	沢1120-1	天岑寺
	56	史 跡	下水野の地蔵尊	H25.2.1	南入曾63-1先	狭山市
57	天然記念物	羽黒神社菩提樹	S48.3.1	加佐志174	羽黒神社	
58	考古資料	注口付き壺形土器	R1.7.1	稲荷山1-23-1 博物館	狭山市	

狭山市の登録有形文化財

No	種 別	名 称	登録年月日	所在地	所有者・保持者等
1	建 造 物	東京ゴルフ倶楽部クラブハウス	H30.11.2	柏原1957-5	東京ゴルフ倶楽部

33	本殿厨子は、黒漆塗りで、前面の扉や梁に、当時流行した意匠や図柄が彫り込まれ、江戸時代前期から中期ごろの武蔵国農村地域の宗教建築の特徴を残しています。また、本殿建立の経過が棟札に記載され、神社の歴史が明らかになりました。
34	「梅宮神社」と彫られた部分に白色塗装が施された木製額です。筆者は、儒学者・亀田鵬斎です。縦43.7cm、横115.6cm。
35	江戸期、入間川が氾濫するたび兩岸の村との境界が不明瞭となり、その境界をはっきりさせるために、この図が作られました。
36	笹井囃子の演目の1つで、一人の演者が仰向きに寝て両足を立て、足の甲に面(ひよつこ・おかめ)をつけ、衣装を着せ、囃子に合わせて演じるものです。
37	神仏分離政策のとき「獅子でなく鹿子である」といって禁をまぬがれたといわれ、「各盞の儀」と呼ばれる儀式が行われるのも特徴です。
38	江戸末期、笛の村木佐平、天狐の飯島喜十郎を中心におこり、県内では珍しい神田古囃子を今に伝えています。
39	地元の里神楽を土台に、江戸徳丸より芸人を招き、田口保明など土地の有志に伝授され始まったといわれています。
40	養蚕の豊作、安産、富士山の鎮火を祈願するため行われます。祭の中心となる「お焚き上げ」は、桑の枝を円柱状に束ねた大・小のたいまつを燃やすもので、近隣には見られない大変貴重なものです。
41	自作のなすを奉納し、神前に供えてある別のなすをもらって帰り食べると、暑気あたりなど疫病一切に靈験あらたかとされています。
42	江戸時代に入曾囃子より伝わり、江戸神田囃子の流れをくみ、大正年間、一時途絶えた入曾囃子に逆に伝授したといわれています。
43	入間市高倉から伝えられた市内唯一の祇園囃子です。柏原八坂神社の「天王さま」の夏祭り等で上演されています。
44	一人立ち三頭のササラ獅子舞で、古い太鼓の内側には「安永2年(1773)9月修理」との記録がありました。
45	幅40cm、高さ131cmという大型の板碑で、阿弥陀三尊来迎図が描かれています。市内に約300基ある板碑の中で代表的なものです。
46	「間引き」(口べらしのために親が生児を殺すこと)をいましめるために奉納されたものです。木製額型で、縦44.3cm、横81.7cm。「陰陽和合図」と一対と考えられます。
47	富士信仰に基づく産育や孝行の思想を絵解きする内容の絵馬です。木製額型で、縦44.3cm、横81.7cm。「子返し」の図」と一対と考えられます。
48	濱臣は江戸中期の高名な国学者で、父・道田が、川越在田中村(現・狭山市狭山)の出身という関係で安穩寺(廃寺)跡に墓があります。
49	入間河原で源頼朝の追手に討ち果たされた、清水冠者義高(源義仲の嫡子)をまつるために造られたと伝えられています。
50	昔は武蔵野の一本松道標と呼ばれ、石造角柱型の4面には東西南北と刻まれ、それぞれの行き先地が書かれています。
51	市内唯一の中世城郭で、別名「上杉砦」ともいわれ、「川越夜戦」で上杉憲政などが陣を敷いたと伝えられています。
52	縄文早期から奈良・平安時代(弥生を除く)の住居跡や古墳が数多く見つかるとともに、その内の住居跡3軒が保存(1軒は復元)されています。
53	源頼朝の追手に追われた清水冠者義高が、この地蔵尊の影に隠れて、難を逃れたとの言い伝えがあります。
54	機械製糸工場の開設、入間馬車鉄道の敷設などを行い、県議会議員・衆議院議員としても地域発展のために貢献した人です。
55	天岑寺を開基した小笠原氏12代にわたる家族の墓所で、宝篋印塔・笠付角柱型墓石など43基の墓塔があります。
56	水野の新田開発にかかわり亡くなった人を供養するとともに、その子孫の現世と来世の安楽を願って造られたと考えられます。
57	シナギ科落葉高木で、6・7月頃淡黄色の花が咲き、葉の裏に直径8mmほどの実を結びます。高さ約10m、幹周約1.9m、樹齢約550年。
58	縄文時代中期後半の注口土器です。文様や地文の施文等、当該時期の制作技法が明確であるうえに、狭山市周辺地域のみならず県内で類例がなく、非常に貴重な資料といえます。

No	概 要
1	建築家アントニン・レーモンドによる設計で、レーモンドの作風が顕著に現れた円熟期の秀作と評価されています。

狭山市の教育 ～これまでの歩み

●昭和29年～昭和38年(1954～1963)

- 昭和29年** 7月 入間川町・入間村・堀兼村・奥富村・柏原村・水富村が合併し狭山市誕生
10月 八幡神社のさほりの壺が県指定文化財になる。
- 昭和30年** 4月 山崎利恭氏が教育長に就任
8月 入間中学校に給水施設が完成
10月 入間川幼稚園の増築園舎が完成
- 昭和31年** 3月 県下初の木造防音校舎、入間川小学校が完成
4月 奥富小学校など6校に給水施設完成
5月 狭山市体育協会が発足
10月 宮崎茂景氏が教育長に就任
- 昭和32年** 4月 狭山市文化財保護条例を制定
11月 第1回市民文化祭を開催
第1回市民体育祭を開催
入間川幼稚園・入間小学校・柏原小学校・入間中学校の木造防音校舎が完成
- 昭和33年** 11月 入間小学校で校歌制定
水富小学校・奥富小学校の木造防音校舎が完成
12月 市役所庁舎(現在の中央図書館)が完成
- 昭和34年** 3月 柏原公民館の木造改築工事が完成
篠井家文書が県指定文化財になる。
10月 入間小学校が、全国優良小学校貯蓄組合として大蔵大臣賞受賞
- 昭和35年** 3月 柏原小学校・水富小学校で完全学校給食開始
10月 柏原中学校・水富中学校と入間川中学校の一部を統合して西中学校開校
11月 市内初の鉄筋防音校舎、入間川小学校の建設に着工
12月 水富公民館の木造改築工事が完成
柏原中学校・水富中学校の木造防音校舎が完成
- 昭和36年** 1月 堀兼小学校・堀兼中学校で完全学校給食開始
2月 狭山市文化協会が発足
4月 入間小学校の増築校舎が完成
9月 堀兼之井が県指定文化財になる。
- 昭和37年** 3月 西中学校の鉄筋防音校舎が完成
4月 奥富中学校と入間川中学校の一部を統合して東中学校開校
9月 入間川小学校で完全学校給食開始

- 昭和38年** 2月 堀兼公民館が完成し開館
3月 堀兼小学校が「体育の研究」で文部大臣より表彰を受ける。
入間中学校の増築校舎が完成

●昭和39年～昭和48年(1964～1973)

- 昭和39年** 4月 入間小学校の鉄筋防音校舎が完成
9月 奥富小学校で完全学校給食開始
11月 柏原小学校が、第2回クロッシングゲーム(自転車の安全な乗り方)県大会で優勝
- 昭和40年** 1月 堀兼中学校の増築校舎が完成
5月 入間川小学校が文部省より「道徳教育の研究」を委嘱される。
7月 入間川小学校に簡易プールが完成
東中学校・入間中学校の鉄筋防音校舎が完成
- 昭和41年** 3月 西中学校の管理棟が完成
- 昭和42年** 4月 市立衛生学院が開校
堀兼幼稚園・奥富幼稚園が小学校の一部を利用して開園
入間川小学校の児童数増加により、旧入間川中学校を分教場として開校
8月 狭山市交通安全都市宣言
10月 衛生学院に調理師養成科を新設
- 昭和43年** 3月 堀兼幼稚園の木造園舎が完成
6月 鶉ノ木に市営プールがオープン
11月 中央公民館(鉄筋防音3階建)が完成
- 昭和44年** 4月 水富幼稚園が開園
今宿遺跡発掘調査(5月まで)
12月 狭山市視聴覚ライブラリー設置
東中学校・入間川小学校・西中学校の体育館が完成
- 昭和45年** 4月 南小学校が入間小学校の一部を仮校舎として開校
衛生学院に歯科衛生士科を新設
新狭山幼稚園が開園
5月 第19回埼玉県身体障害者スポーツ大会(パラリンピック)を狭山高校で開催
8月 市立図書館開館(鉄筋防音3階建)
10月 教育相談を新設の教育相談室に移転開設
11月 七曲井の発掘調査を開始
- 昭和46年** 2月 宮地遺跡発掘調査(3月まで)
4月 狭山市総合振興計画がスタート
入間川小学校分教場の鉄筋防音校舎(第2期)が完成し、入間川東小学校として独立開校

- 7月 図書館の貸出をブラウン方式に変更する。
- 昭和47年**
 - 2月 武道館が開館
 - 3月 奨学金貸与条例を制定
水富小学校の増築校舎が完成
 - 4月 教育委員会事務局に総務課を新設
入間川東幼稚園が開園
 - 5月 学校給食センターが完成し、全校に完全給食を実施
堀兼中学校が日本学校安全会より「安全教育」を委嘱される。
 - 7月 柏原公民館(鉄筋防音2階建)が完成し開館
 - 10月 市川正男氏が教育長に就任
- 昭和48年**
 - 4月 富士見小学校の鉄筋防音校舎が完成し開校
 - 5月 入間公民館(鉄筋防音3階建)が完成し開館
水富公民館・奥富公民館(鉄筋防音2階建)が完成し開館

●昭和49年～昭和58年(1974～1983)

- 昭和49年**
 - 1月 入間川小学校が第14回全国交通安全国民運動中央大会で「交通安全優良校」として表彰を受ける。
 - 4月 移動図書館「さみどり号」の運行を開始
 - 9月 堀兼公民館(鉄筋防音2階建)が完成し開館
 - 10月 中央公民館の分館として新狭山公民館が開館
- 昭和50年**
 - 4月 新狭山小学校・狭山台北小学校・狭山台南小学校・狭山台中学校が開校
- 昭和51年**
 - 4月 広瀬小学校・山王小学校が開校
 - 9月 狭山市バスケットボール同好会が県民体育大会一般の部で優勝
- 昭和52年**
 - 4月 入曽幼稚園・柏原幼稚園が開園
山王中学校が開校
 - 12月 第2学校給食センターが完成
- 昭和53年**
 - 4月 狭山台幼稚園が開園
 - 5月 富士見集会所が開所
 - 9月 智光山公園にテニスコートがオープン
- 昭和54年**
 - 3月 入曽の獅子舞が県指定文化財になる。
 - 4月 入間野小学校が開校
- 昭和55年**
 - 1月 狭山市子ども会育成会連絡協議会が発足
 - 11月 狭山台公民館(鉄筋防音2階建)が完成し開館
入間野小学校の体育館・プールが完成
- 昭和56年**
 - 4月 入間川中学校が開校
 - 5月 教育委員会事務局に保健体育課を新設

10月 狭山台南小学校が「学校給食の研究」で文部大臣より表彰を受ける。

昭和57年 4月 笹井小学校・柏原中学校が開校

11月 広瀬公民館(鉄筋防音2階建)が完成し開館
入間川中学校の体育館・プールが完成

昭和58年 4月 市民総合体育館がオープン

御狩場小学校が開校
笹井小学校・柏原中学校の体育館・プールが完成

●昭和59年～平成5年(1984～1993)

昭和59年 8月 第10中学校校舎・体育館棟工事着工

9月 広瀬小学校校舎の増築工事に着手
笹井小学校・柏原中学校の体育館・プールが完成

昭和60年 4月 中央中学校が開校

7月 入間川小学校の校舎内部改修工事に着手
広瀬小学校の増築校舎完成

昭和61年 3月 柏原小学校増築校舎完成

第1回市民ゴルフ大会を開催
4月 第2次狭山市総合振興計画がスタート
東京家政大学狭山校舎開校

昭和62年 1月 武居富雄氏が教育長に就任

3月 西中学校増築校舎完成
4月 新狭山公園の野球場とテニスコートにナイター施設完成

昭和63年 4月 埼玉女子短期大学、文理情報短期大学が開校

入間野中学校が開校
5月 複合施設として水野公民館・第四児童館・水野学童保育室がオープン
7月 旧庁舎移転後の建物を改修し、コンピュータシステムを導入した新図書館を開館
南入曽公園プールがオープン

平成元年 5月 こども動物園にさる山が完成し、全面オープン

11月 市制施行35周年記念式典を挙
12月 平和都市宣言

平成2年 1月 公文書公開制度がスタート

11月 第1回さやま大茶会を開催

平成3年 4月 教育センターがオープン

11月 博物館がオープン

平成4年 3月 梅宮神社の甘酒祭りが県指定文化財になる。

- 10月 富士見公民館がオープン
- 11月 健康都市宣言
- 平成5年**
 - 4月 狭山市生涯学習基本計画がスタート
西武学園文理中学校が開校
 - 7月 複合施設として狭山台図書館・体育館・プールがオープン
 - 8月 「生涯学習を進める狭山市民会議」が発足
 - 10月 さやま生涯学習フェスティバルを開催

●平成6年～平成15年(1994～2003)

- 平成6年**
 - 2月 第1回クロスカントリー IN SAYAMAを開催
 - 11月 市の愛称を「お茶香るまち」と決定
- 平成7年**
 - 1月 図書館の夜間開館を開始(週2日)
 - 4月 赤坂の森公園がオープン
 - 10月 四市(所沢・入間・飯能・狭山)の図書館相互利用を開始
- 平成8年**
 - 4月 野村甚三郎氏が教育長に就任
 - 11月 リサイクル都市・狭山宣言
- 平成9年**
 - 3月 狭山市生涯学習市民講師(現:狭山市生涯学習ボランティア)登録制度スタート
 - 4月 市内全域で古紙・古布の収集を開始
教育センターに「適応指導教室」を開設
- 平成10年**
 - 3月 広瀬神社の大ケヤキと市内から出土した西久保遺跡出土石器が県指定文化財になる。
 - 4月 環境基本条例を施行。福祉循環バス「茶の花号」が運行
 - 6月 教育情報誌「SunSANさやま」創刊(年4回発行)
- 平成11年**
 - 4月 狭山市ダイオキシン類の排出の抑制に関する条例を施行
 - 7月 中央図書館夜間開館を週3日とする。
 - 10月 狭山市ポイ捨ての防止に関する条例を施行
インターネットによる図書館蔵書検索サービスを開始
- 平成12年**
 - 4月 県内初のエコスクール・入間川小学校が移転、開校
入間川東幼稚園が入間川幼稚園に統合
 - 6月 ISO14001の認証を取得
 - 10月 川越市と図書館相互利用を開始
 - 12月 インターネットによる図書館蔵書予約サービス開始
- 平成13年**
 - 4月 第3次狭山市総合振興計画がスタート
第2次狭山市生涯学習基本計画を策定
情報通信技術推進事業(IT講習会)を41施設で301講座を実施(平成14年2月まで)
 - 11月 全国初の「ノーレジ袋デー」を実施

- 11月 ワージントン市と姉妹図書館提携に関する協定を締結
- 平成14年** 3月 教育情報誌「SunSANさやま」の発行終了
- 4月 生ごみリサイクル事業を開始
狭山台北小学校に発達障害・情緒障害通級指導教室を開設
- 5月 稲荷山公園が、県営狭山稲荷山公園として開園
中央図書館が祝日開館を開始
- 平成15年** 2月 「生涯学習を進める狭山市民会議」解散
- 3月 笹井産出アケボノゾウ骨格化石が県指定文化財になる。
教育情報ネットワーク開通
- 5月 構造改革特区に外国語早期教育が認定され、小学校で英語活動を開始

●平成16年～平成25年(2004～2013)

- 平成16年** 2月 狭山市・入間市合併協議会を設置
- 4月 門倉節明氏が教育長に就任
「地域子ども教室」が「子どもの居場所づくり」事業としてスタート
「生涯学習まちづくり出前講座」事業スタート
- 5月 「(仮称)生涯学習をすすめる市民の会」が設立準備会の委員を公募し、検討を開始
- 9月 第59回国民体育大会が埼玉県で開催され、狭山市では3競技(ソフトテニス・ゴルフ・ボウリング)を実施
- 11月 市制施行50周年記念式典を挙行
博物館が埼玉県教育委員会「教育功労者及び優良教育施設団体表彰」において、「優良教育施設」として表彰を受ける。
- 平成17年** 3月 モバイル端末からの図書館蔵書検索・予約サービスを開始
- 4月 教育委員会事務局を生涯学習部と学校教育部の二部制とする。
生涯学習部教育総務課に小中学校統廃合の担当部署を置く。
- 8月 「さやま生涯学習をすすめる市民の会」が設立
- 10月 さやまっ子教育の日を定め、小中学校が一斉に教育活動を公開
- 平成18年** 1月 七曲井の崩落防止工事を開始
- 3月 第3次狭山市生涯学習基本計画を策定
- 4月 市民総合体育館、武道館の指定管理者による管理を開始
中央図書館に「くつろぎ読書室・オアシス」を開設
- 6月 下奥富運動公園がオープン
- 10月 図書館が埼玉・教育ふれあい賞を受賞
- 11月 狭山市体育協会創立50周年記念式典を挙行
- 平成19年** 3月 入曽幼稚園・堀兼幼稚園・奥富幼稚園閉園
- 4月 狭山市学校支援ボランティアセンター(SSVC)を狭山台中学校内に開設
キャリア教育の推進、道徳教育の文部科学省の指定

- 4月 発達心理学等の専門家の小中学校への巡回支援を開始
中央中学校に発達障害・情緒障害通級指導教室を開設
- 5月 教育施設43ヶ所に自動体外式除細動器(AED)を配備
- 8月 新しい移動図書館「さみどり号」が運行開始
- 9月 「狭山市立小・中学校の規模と配置の適正化に関する基本方針」を策定
- 10月 狭山市スポーツボランティア登録制度がスタート
- 11月 公民館などの活動団体を表彰する規程を定め、1回目の表彰式を開催
- 12月 PFI事業(第一学校給食センター更新事業)がスタート
- 平成20年** 4月 地域スポーツ施設の指定管理者による管理を開始
教育委員会のホームページの運用を開始
小学校理科支援員の配置(全小学校17校に計24名)
小・中学校連携教育モデル校の指定(3地区7校)
- 7月 狭山市児童英語検定の実施(関東近県で初めての試み)
- 平成21年** 4月 狭山台図書館が祝日開館を開始
「入間公民館」を「入曽公民館」に改称
学童保育事務が福祉部より事務移管
武道館の管理が直営に戻る。
- 6月 お弁当の日がスタート(年3回)
「第一学校給食センター」を「入間川学校給食センター」「柏原学校給食センター」に改称
「第二学校給食センター」を「堀兼学校給食センター」に改称
狭山台南小学校・狭山台北小学校の2校合同による津南町農業体験宿泊学習
- 9月 新学校給食センター(入間川・柏原)が稼動。市内15校に配送。
- 平成22年** 3月 狭山市スポーツ振興基本計画を策定
狭山台南小学校・狭山台北小学校閉校
- 4月 松本晴夫氏が教育長に就任
狭山台南小学校と狭山台北小学校が統合し、狭山台小学校が開校
富士見公民館、水野公民館、広瀬公民館の指定管理者による管理を開始
- 6月 入間小学校・南小学校・入間野小学校の3校合同による津南町農業体験宿泊学習
- 平成23年** 3月 入間小学校閉校(南小学校と入間野小学校に分散統合)
- 5月 狭山市教育振興基本計画を策定
第4次狭山市生涯学習基本計画を策定
- 10月 子ども大学さやま・いるま開校
- 11月 さやま大茶会(市民部より移管)
- 平成24年** 4月 狭山市生涯学習情報検索システム「さやまなびいネット」の運用開始

- 7月 中央公民館が狭山市駅西口駅前 狭山市市民交流センター内に移転
狭山市市民交流センター内に生涯学習情報コーナーを開設
- 平成25年** 4月 小惑星「Iriso」の名が国際天文学連合から正式に承認
狭山市立武道館の利用休止
- 5月 緊急時一斉メール配信システム「さやまっ子緊急メール」運用開始
- 8月 狭山市子ども読書活動推進計画を策定
- 11月 「子ども大学さやま」新規開校

●平成26年～ 現在

- 平成26年** 1月 第60回狭山市成人式を2部制から1部制に変えて挙行
- 4月 「さやま市民大学」開校
- 5月 スカイテラス(狭山市駅西口地区)都市景観大賞で優秀賞を受賞
- 8月 「狭山市いじめの防止等のための基本的な方針」の策定
- 9月 日本スポーツマスターズ2014埼玉大会が開催され、狭山市ではボウリング競技を実施
- 10月 市制施行60周年記念式典
教育委員会の附属機関として「狭山市いじめ問題審議・調査委員会」の条例による設置
埼玉県レクリエーション大会inさやまを開催
- 12月 南入曽公園プールの廃止
- 平成27年** 3月 狭山台幼稚園・新狭山幼稚園・柏原幼稚園閉園
入間中学校閉校(入間野中学校と山王中学校に分散統合)
いじめ問題対策連絡協議会及びいじめ問題審議・調査委員会の第1回会議の開催
- 4月 市立幼稚園預かり保育事業開始
奥富学童保育室、柏原小学童保育室、水富小第一・第二学童保育室の指定管理者による管理を開始
博物館の指定管理者による管理を開始
- 7月 新狭山公民館閉館(建て替えのため一部機能を新狭山地区センター内に移設)
- 9月 新堀兼学校給食センター稼動
- 平成28年** 3月 東中学校閉校(狭山台中学校と中央中学校に分散統合)
- 4月 向野康雄氏が教育長に就任
地域スポーツ施設と狭山台図書館が共同事業体による指定管理を開始
入間川東小第一・第二学童保育室、入間野小第一・第二学童保育室、御狩場小学童保育室、
新狭山小第一・第二学童保育室の指定管理者による管理を開始
- 5月 中学生学習支援事業「さやまっ子・茶レンジスクール」を開始
- 7月 第2次狭山市教育振興基本計画を策定
第5次狭山市生涯学習基本計画を策定
狭山市スポーツ推進計画を策定

- 7月 学童保育室で延長保育事業開始
学校法人日本体育大学と「体育・スポーツ振興に関する協定を締結
- 9月 統合型校務支援システムの運用開始
- 平成29年** 4月 広瀬小学校発達情緒通級指導教室(県費)開設
柏原小第二学童保育室開設
語学指導助手の幼稚園への定期的な訪問を開始
- 6月 新狭山公民館更新事業により、同一敷地内に新狭山公民館が完成し開館
- 9月 狭山市とNPO法人エルフェンススポーツクラブにおける「ホームタウン・まちづくりパートナーシップ包括連携に関する基本協定」を締結
- 平成30年** 3月 「狭山市立小・中学校の規模と配置の適正化に関する基本方針」を改定
- 4月 中央中学校特別支援学級(2)開設
中央図書館が「子供の読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣より表彰を受ける
- 5月 第2次狭山市子ども読書活動推進計画を策定
- 6月 公費による実用英語技能検定を開始(中学3年生対象)
- 7月 武道館の整備に関する基本方針を改訂
- 11月 東京ゴルフ倶楽部クラブハウスが国登録有形文化財になる。
- 平成31年** 4月 四市(所沢・入間・飯能・狭山)の図書館及びスポーツ施設の相互利用に日高市が加入
入間川東小・富士見小学童保育室分室、広瀬小学童保育室分室を開設
堀兼小学校特別支援学級(1)開設
- 令和元年** 6月 小学生学習支援事業「さやまっ子・茶レンジスクール」を開始
- 7月 稲荷上遺跡から出土した注口付き壺型土器が市指定文化財になる。
- 令和2年** 3月 公立幼・小・中学校新型コロナウイルス感染拡大防止により臨時休校(3月2日～5月31日)
- 4月 旧入間中学校跡地に入曽公民館機能を有する入曽地域交流センターが完成し開館
入間野小学校特別支援学級(1)開設
- 5月 狭山市スポーツ少年団創立50周年
- 6月 新型コロナウイルス感染症拡大の軽減に向けた方針に基づき幼・小・中学校を再開
- 令和3年** 2月 GIGAスクール構想に基づき、児童・生徒1人1台の情報端末を整備
- 4月 奥富小学校特別支援学級開設
入間野中学校特別支援学級開設
- 8月 狭山市学校施設長寿命化計画を策定
- 令和4年** 4月 滝嶋正司氏が教育長に就任
学童保育事務・青少年健全育成事務が、こども支援部へ事務移管
教育委員会事務局に教育施設管理課を新設
柏原中学校特別支援学級開設

- 5月 旧市営住宅上諏訪団地跡地に武道館を整備し、供用開始
- 7月 昭和31年5月発足した狭山市体育協会が狭山市スポーツ協会へ名称変更
- 令和5年** 3月 第3次狭山市子ども読書活動推進計画を策定
- 4月 入間川中学校特別支援学級開設(全小中学校に開設となる)
狭山市図書館運営基本方針を策定
- 5月 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、2類相当から5類へ変更となる

令和5年度 狭山市の教育

発行日 令和5年7月
発行 狭山市教育委員会
所在地 〒350-1380
埼玉県狭山市入間川1丁目23番5号
T E L 04-2953-1111(代表)
F A X 04-2954-8671
E-mail kyoiksom@city.sayama.saitama.jp (教育総務課)



中央にカタカナの「サ」を置き、周囲に山を配して狭山を象徴。中央の「サ」は、常に中心の安定を保持し、山をもって丸く囲んだのは、市民が共同一致して円満な発展をすることを意味しています。